



釧路公立大学だより

AURORA



「静かなる躍動」 描者：平野 葉月（経済学科1年）

東日本大震災により被災された学生に対し、引き続き経済的支援を行っています。

この震災により入学金や授業料の納付が困難となった学生に対して、入学金の免除や授業料の減免を行っています。

ご相談については、事務局学生課までお問い合わせください。

CONTENTS

学長メッセージ	2
新任教員紹介	3~4
活躍する教員	4
就職戦線最新情報・	
キャリアセンターだより	5
活躍する公立大生	6
公開講座・保健室だより	7
インフォメーション	8



新型コロナ下の校内の名所

釧路公立大学学長 小路行彦

新型コロナの影響で、多くの大学がオンライン授業で前期は終わっている中、本学は演習や語学の講義と一部の科目で、対面型の講義を行うことができました。教職員の努力と学生の注意深い行動で、前期はとりあえずこの難局を乗り切れたことは、感謝に堪えません。受験勉強からやっと解放されて、友人や教師から刺激を受けながら、自分の人生を切り開いていく一歩を踏み出すところを、パソコンに向き合う刺激の少ない日々を過ごしてしまったとしたら、残念と言うほかありません。

対面授業を始めることができたといっても、人数規制をしていますから学内は閑散としています。学生の服装の変化をみて季節の移り変わりを意識することが多いのですが、今年は、学生がほとんどいません。いても、みなマスクをしているので表情を伺うこともできません。大学は、葬儀場の中のように言葉少なく、伏し目がちに人が移動している奇妙な場所になってしまいました。私はといえば、新型コロナの対策会議と遠隔授業の作成のために、パソコンに向かう日々が粛々と続き、蝦夷はるぜみの鳴き声も、郭公の木霊のような響きも、聞き逃してしまったようです。

そんな中、親しい教員に、構内の花水木が市民の間で評判になっていることを教えられました。そう言えば、正門のすぐそばの花水木の前で撮影をしている御婦人を見たばかりでした。校内には2カ所花水木が植えられていて、正門のは1本だけですが、それだけに少し大きく育っている。二十数本も群生している所は、木は少し小さめですが、その薄桃色の花の重なりで、可憐さと艶やかさが同居する見事な一角となっています。

学生生活において大学のキャンパスは重要で

す。建物は言うまでもなく、キャンパスの自然環境も。湿原を整地して造られたキャンパスは水捌けが悪い。開学当初から、学生と一緒に木を植えてきましたが、根付かずに枯れてしまう木も沢山あります。これにめげずと、毎年植樹祭を行って木を植え、学び舎の空間を自ら創造してきました。「共同社会と場所との関係は、一方が他方のアイデンティティを補強しあうような非常に強いものである」(『場所の現象学』)とする説が支持されるとすれば、大学という共同社会においても、この関係は当てはまるでしょう。その植樹祭が今、懐かしく思い出されるのはその伝統が途切れてしまったためであろうか。

本州から来ている学生から、子供が大学にいる内にと、家族の方が旅行に来られた話を聞きました。釧路湿原から知床、網走、サロマ湖を回られたという。しかし、本人はまだ阿寒湖も摩周湖も屈斜路湖も温根内のビジターセンターから入れる湿原にも行ったことがないと言います。残念ながら、多くの学生が、釧路と道東の地域が世界に誇る湿原も、3つのそれぞれ趣を異にする湖も見ないうま釧路を離れているようです。これは大学にも責任がありますが、是非、保護者の皆さんにはお子さまが大学にいる間に、釧路を訪ね、道東の旅を堪能していただきたいものです。そして、釧路湿原や道東への旅の途中に、大学のキャンパスも覗いてもらえれば、お子さまが、ここで学生生活を送り、学んだことに、ご家族の共感が加わることになり、ここで過ごした時間と空間に貴重な意味づけがなされることになると思うのです。今のところ、釧路公立大学の名所は花水木だけですが、もっとそうした樹木や空間を増やして行きたいものです。



「新任のご挨拶」

准教授 川 島 啓

(担当科目：地域開発論、地域産業論A、産業政策A、政策・経済事情特殊講義A)

本年度より着任しました川島啓と申します。主な担当科目は地域開発論、地域産業論、産業政策です。私は本年3月まで民間のシンクタンクにて様々な政策研究に従事してきました。シンクタンクというところは政策の最先端を経験できる職場です。私が就職した当時は京都議定書が締結された直後であり、エネルギー・環境問題がもっともホットなトピックでした。環境影響評価やCO₂排出量の計算、エネルギー原単位の計算など、工学部の大学の先生方と一緒に様々な技術評価業務を担当しました。平成13年に政策評価法が施行されると各省庁が事業評価に取り組むようになりました。私は経済産業省、文部科学省、新エネルギー産業技術研究開発機構(NEDO)や科学技術振興機構(JST)などの研究開発評価に関する調査研究に従事しました。そうした中でJSTの仕事のひとつに地域科学技術政策の評価業務があり、評価委員として日本全国の知的クラスターに訪問する機会を得て、クラスター政策と地域経済への影響を間近にみて考えさせられることが多くなりました。

全国の産学官連携事例をみていると成功している地域は本当に限られています。また、かつてはベストプラクティスと呼ばれた事例もけして持続的ではありません。日本の産業技

術の国家プロジェクトは実は1980年代のスーパーLSIが最後の成功例で、その後はあまりぱっとしません。太陽電池を実用化したニュー・サンシャイン計画ですら、終了直後は日本メーカーが世界一になりましたが、あっという間に凋落して現在は数%のシェアしかありません。技術は開発できてイノベーションの主導を握れないのです。

私はこの原因をビジョンとマネジメントの不在だと考えます。地域科学技術政策に限らず、多くの分野で共通の問題かもしれません。日本ではポーターのクラスター論を政策省庁が取り入れてはみたものの、成功からはほど遠いものとなってしまいました。つい最近まで学会でも成功事例ともてはやした地域が持続していないため、学術分野においても産業政策論は大きな停滞を招いています。

逆に考えれば、ビジョンとマネジメントがしっかりしていれば、何もないところでも地域の発展はいかようにも可能だと言えます。釧路に移住して4ヶ月経ちますが、色々な面で道東地域が豊かなことに驚いています。どうすれば地域が持続可能に発展できるか、学生のみなさんと講義やゼミを通じて考えていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



「哲学について」

講師 本 間 義 啓

(担当科目：哲学、倫理学、法律・政治特殊講義A、外国書購読A)

みなさまは哲学についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。哲学について考えるとき私が思い出すのは、カリクレスという政治家がソクラテスに言い放った次のような言葉です。「若い年頃の者が哲学をしているのを見れば、ほくは感心するし、それはふさわしいことだと思ひ。(...)しかしながら、実際、いい年になってもまだ哲学をしていて、それから抜け出ようとしなない者を見たりするときは、ソクラテスよ、そんな男はもう、ぶん殴ってやらなければいけないと僕は思ひのだ」(プラトン『ゴルギアス』加来彰俊訳、岩波文庫、1967年、pp.124-125)。痛快な売り言葉です。現実離れしたことばかり語る哲学は、実社会で力強く生きていこうとする者にとっては足枷にしかならないとカリクレスは言ひます。

「ぶん殴るぞ」と言われたソクラテスはどのような行動をとったのでしょうか。彼はカリクレスの批判を喜び、「いかに生きるべきか」というテーマをぶつけて議論を楽しもうとしたのでした。強烈な現実主義を信条とするカリクレスのような男は、哲学にとって古い友人みたいなものです。というのも哲学は、つねに社会や現実、あるいは、それらを語る様々な言説によって殴られながら続けられてきた営みでし

た。「哲学をする」ことの面白さは、自分をぶん殴ってくる現実や言説を前にして、一步引き、それに対して新しい見方を構築しようとする点にあります。常識や社会通念とは異なる考えを組み立て、それを現実に対してテストしてみる。このような試みが「哲学をする」ことなのだと思います。自明なものとして無意識的に受け取っている物事、たとえば、自分がそれであると思ひている「私」、自分のものであると感じる「身体」、あるいは、自分が所属する「家族」や「社会」に関して、あえて別の仕方であらえてみようと思ひます。

こう考えてみると、「哲学する」ことは誰もが行なっていることのようにも思ひます。「若い年頃の者」に限らず、子供でも老人でも、ときに何らかの現実ひひっかり、別の仕方であらうを試みる場合があります。哲学は、このような「別の仕方」を模索し、自分なりに物事を考え始めるために役立つべきであると私は考えておひます。講義や演習では、様々な哲学者たちの思想を丹念に読解しつつ、自分なりに考え、「別の仕方」を模索する面白さを共有する場を作ってゆきたいと思ひます。



「各位好！（こんにちは）」

講師 **岩本 真利絵**

(担当科目：中国語)

今年度から講師として着任いたしました岩本真利絵と申します。担当科目は中国語です。

私は愛知県生まれで、大学進学以降は京都に住んでいました。大学院在学中の2013年～2015年に中国政府奨学金高級進修生として、北京大学歴史系に留学しました。2017年に博士課程を修了した後、関西地方のいくつかの大学の非常勤職員や中国語の非常勤講師をへて、2018年から2020年まで大谷大学任期制助教を務めていました。専門は中国明代の政治史・思想史で、皇帝政治と当時の人々の思考の枠組みの関係について研究しています。

私の専門は語学ではなく、むしろ語学が苦手でした。大学時代に第二外国語として中国語を履修したものの、全く話せませんでした。留学中も私の中国語のレベルはそれほど高いものではありませんでした。

ターニングポイントとなったのが、2016年に学会で北京を再訪したときです。留学時代の友人に1年間の生活の変化を聞いて衝撃を受けました。私の留学中、お金を払う時は現金かカードで、タクシーは道で手をあげて拾うものでした。と

ころが、わずか1年の間に、主な支払い方法はQRコード決済に変わり、タクシーは配車アプリで乗るものになっていました。中国社会の変化の速さを痛感し、留学ただけで中国生活をわかった気になっていた自分を恥じました。これ以降、現代中国の社会に対する関心が高まり、なんとか中国の変化についていきたいと思い、中国の最新情報をチェックするようになり、現地に行く回数も増えました。それとともに、中国語のレベルも劇的に変わりました。

以上の個人的経験から、語学を学ぶ上で一番重要なのは、その国・地域の文化や生活に興味をもつことだと考えています。釧路公立大学でも学生みなさんに中国や中国語圏に対する関心を持ってもらえるように、毎回の授業で模索しています。

着任早々、新型コロナウイルスの感染拡大という非常事態に直面しましたが、他の教職員みなさまの温かいお心遣いのおかげで、なんとか授業と生活を両立することができています。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

活 | 躍 | す | る | 教 | 員

時代の転換点に立ち会って

准教授 **藤田 祐**

2019年9月末から約1年間、イギリス南部のビーチリゾート都市、ブライトンの街外れにあるサセックス大学に所属して長期海外研修を行いました。ブライトンは多様性を重視する街として知られ、同性愛者などセクシュアル・マイノリティの社会における承認や平等な権利を求める、イギリス最大級のプライド・イベントが毎年8月初めに行われます（2020年は延期）。また、緑の党の下院議員を選出しているイギリス唯一の選挙区があります。

在外研究当初の数ヶ月はEU離脱が最大の懸案で、ボリス・ジョンソン首相は新しいEU離脱案をまとめ、12月の総選挙

で大勝して1月末のEU離脱にこぎつきました。しかし、その後、世界各地で感染が拡大した新型コロナウイルスへの対応が遅れ、首相自身も感染し、犠牲者数でヨーロッパ最悪の被害を受けました。

2020年は第二次世界大戦勝利から75年の節目で、6月には、「軍隊の恋人」と呼ばれた歌手、ヴィラ・リンが103歳で亡くなりました。後半生をブライトンにほど近い村で過ごしたヴィラ・リンは、第二次世界大戦中に「また会いましょう」などをヒットさせ、ラジオを通じて人々を勇気づけるとともに、日本軍に反撃していたイギリス領ビルマなどを訪れて軍隊を慰問しました。4月に放映された女王のスピーチでも、直面するコロナウイルス感染拡大という危機が第二次世界大戦と結びつけられ、締めくくりに「また会いましょう」という言葉が使われました。EU離脱を経て戦後最大の危機に直面していた2020年に第二次世界大戦の記憶と不可分のヴィラ・リンが亡くなったことは、時代の転換点を象徴するよう感じられました。

このような1年を目撃しながらイギリスで在外研究を行う機会を与えていただいたことに感謝を申し上げます。



就 職 戦 線 最 新 情 報

卒業予定者の内定先リスト (現在の内定状況) 2020/09/16

- 建設業** 札幌ペック、ズコーシャ、大東建設、立山工業、日本ハウスホールディングス、北海電気工事、宮坂建設工業、ロゴスホーム
- 製造業** アルビオン、キオクシア岩手、コロナ、すぎもとミート販売、タカラスタンダード、東芝ホームテクノ、東北容器工業、東洋、能美防災、ホクレンくみあい飼料、森永乳業、山崎製パン、よつ葉乳業
- 卸売・小売業** アイワイフーズ、アインホールディングス、イオン北海道、エーツー、オカモトグループ、オートベル、ALL CONNECT、PALTAC、帯広地方卸売市場、帯広日産自動車、クワザワ、コープさっぽろ、コメリ、サザビーリーグ、サングリン太陽園、新栄クリエイト、セコマ、ダイレックス、丹波屋、ダンロップタイヤ北海道、ツルハホールディングス、DCMホームマック、ドコモCS北海道、トヨタモビリティパーツ、ニトリ、熱原釧路、長谷川産業、パレモ、東日本フード、東北海道ヤナセ、ホームマックニコット、ほくやく・竹山ホールディングス、北良、北海道エナジティック、マックスバリュ東北、マックスバリュ南東北、丸中釧路中央青果、三浦電気、三田商店、みちのくクボタ、ムトウ、モロオ、ヤオコー、薬王堂、山田機械工業、ヤマダ電機、ヨドバシカメラ、リリアブル、渡辺パイプ
- 金融・保険業** 旭川信用金庫、網走信用金庫、茨城県信用組合、岩手銀行、渡島信用金庫、帯広信用金庫、共栄火災海上保険、きらやか銀行、釧路信用金庫、釧路信用組合、ジャックス、東京海上日動火災保険、東北銀行、苫小牧信用金庫、日本生命保険相互会社、ほくほくTT証券、北洋銀行、北海道銀行、みずほ銀行

- 運輸・情報通信** アール・アンド・イー・シー、アイグロープ、アシスト北海道、内田洋行ITソリューションズ、NTTデータソフィア、エフブレイン、エムシーエス、大塚商会、CAICA、クレス、クレスコ・イー・ソリューション、クロスキャット、ジャパンテクニカルソフトウェア、津軽海峡フェリー、テレ・マーカー、日水物流、日本アイ・ビー・エムデジタルサービス、日本情報産業、日本データスキル、ネイビーズ・クリエイション、東札幌日通輸送、東日本旅客鉄道、富士ソフト、フラクタルシステムズ、ホープス、Polestar-ID、北海運輸、北海道中央バス、北海道日立システムズ、北海道丸和ロジスティクス、丸和運輸機関、三ツ輪運輸、ロジネットジャパン
- 電力・ガス** 釧路ガス、日東エネルギー・ホールディングス、北海道エア・ウォーター
- 不動産業** パワー・ステーション、ホットハウス
- サービス** ALSOK北海道、エフアンドエム、オホーツク網走農業協同組合、オホーツク農業共済組合、協和企画、合田観光商事、こまち農業協同組合、札消防災、札内農業協同組合、土幌町農業協同組合、新和、道東あさひ農業協同組合、豊頃町農業協同組合、ニラク、函館商工会議所、プライムアシスタンス、ペイロール、ホクレン農業協同組合連合会、北海道農業協同組合中央会、北海道農業公社、三ツ星レストランシステム、芽室町農業協同組合、リアホールディングス、臨海、レブニーズ、練成会グループ、労働者健康安全機構、ワタミ
- 国家公務** 自衛隊（海上）、自衛隊（陸上）
- 地方公務** 一関市役所、久慈市役所、釧路市役所、札幌市役所、北斗市役所、北海道庁、宮城県警察

キ ャ リ ア セ ン タ ー だ よ り

「釧路公立大学キャリアセンター」

今年の就職活動は、新型コロナウイルスによって、かつてない苦戦を強いられています。

今年の就活生は、ただでさえ“いつもと違う就活”を強いられることを覚悟していました。形骸化した就活ルールによる企業の採用活動の早期化に加え、公務員試験も本格化する時期（7月～9月）の東京五輪開催が、これに拍車をかけることが判っていたからです。

そこに登場した“新型コロナ”は、我々の想像を絶する走りを見せて就活生を混乱させます。留学断念、就活のため満を持して乗り込んだ首都圏からの強制退去、オンライン面接、志望する企業の採用活動中止など、それは不条理というにはあまりに不合理な状況です。

しかし、就活生たちは、その状況を受け入れて順応し、更にはこれを活用して見事な戦いぶりを見せています。後世、彼女たち、彼たちは畏敬の念を込めて「コロナ世代」と呼ばれることでしょう。もっともこの人たちは、デジタルネイティブの「Z世代」。就活環境の未曾有の混乱をあっという間に“新常态”にしてしまったのも当然のことなのでしょう。

とはいえ、『あしたはどっちだ』と悩むタイプはこの世代にもいます。が、時と場所を得さえすれば必ず変身できます。

それを支援するためには、何としても新常态に順応せねばならぬと、かつての新人類は脂汗をにじませております。

後期に実施する就職対策事業

10月	筆記試験対策講座 進路登録票説明会 経験を生かす！インターンシップ振り返り講座 Web選考対策講座 内定者による就職相談会 TOEIC IP 試験 企業訪問報告会 一般常識対策模擬試験 OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～（民間企業） 履歴書対策講座・添削 漢字検定
11月	マナー・身だしなみ講座 就活メイクアップセミナー（女子学生対象） WEB SPI 受検会 OB・OGに聞く～仕事のアレコレ～（公務員） 秘書検定試験 グループディスカッション対策講座 エントリーシート攻略講座・添削 模擬グループディスカッション OB・OGに聞く～採用担当者が考える「こんな人が欲しい！」～ 面接対策講座 金融実務講座～就活に必要な人生設計～
12月	ビジネス検定 模擬面接（集団） 模擬面接（個人） 公務員試験説明会
1月	大人から見た企業研究講座 第一志望に内定する志望動機講座
2月	合同企業説明会攻略講座 就活直前対策講座 業界研究会 公務員模擬試験（公務員共通型） 公務員受験対策講座（春期集中） 公務員模擬試験（警察官・消防官型）
3月	合同企業説明会参加 無料バス 公務員模擬試験（国税専門官型） 公務員模擬試験（国家一般職型）

アメリカンフットボール部

部長 経済学科3年 泉川 溪太

こんにちは、釧路公立大アメリカンフットボール部 GOLDEN CRANES です。私たちは「全勝優勝1部昇格」という目標に向かって日々練習しています。そして、今シーズンは「Rise As One」というチームスローガンを掲げています。現在部員数は25名ですが、決して多いわけではなく、部員のほとんどが高校までアメフト未経験者というのが現状です。しかし、少ない人数だからこそチームで一丸となり、学年問わずお互いに高め合う関係を築く事でフットボーラーとしても人間としても大きく成長し目標の達成に繋がると考え、このスローガンを設定しました。

北海道では、アメリカンフットボールというスポーツはあまり馴染みがなく、試合を見たことがない方も少なくないと思います。激しいコンタクトによる力と力のぶつかり合いというイメージが強いアメフトですが、実はその中には多彩な戦術と緻密な連携によるクレバーな一面も魅力のひとつです。ま

た、フィールドに立つ11人それぞれに役割が与えられ、プレイヤー1人ひとりの個性を存分に活かすことが出来るスポーツでもあります。さらに、フィールドに立つプレイヤーに加え、彼らを支えるマネージャーや戦術を考えるアナライジングスタッフなどの影の立役者達の活躍も勝利の鍵を握っています。このようにアメフトには多くの魅力があり、私たちは日々楽しみながら活動しています。

これからも私たちは、目標の達成に向けて日々努力し、活動を通して、このアメリカンフットボールという競技の魅力を釧路の皆さんに伝えられるように真摯に取り組んで参りたいと思います。応援の程、よろしくお願いいたします。



釧路わかもの研究室

部長 経営学科3年 伊藤 綱康

こんにちは。釧路わかもの研究室です。私たちは、わかもの地域の方々をつながりを作ることを目的に活動しています。活動内容は2つあります。一つは「わかプロ」です。わかプロとは、地域で活躍する方々とイベントを開催し、その参加者として大学生を募るものです。私は、大学進学を機に初めて釧路を訪れました。そして、地域の方々とお話する度に、なんて釧路の方は活発なんだと感動しました。その想いをわかプロを通して共有したいと思っています。今年7月には、わかプロ第一弾として「わかもの日本酒教室」を開催しました。講師には、わかものや女性に日本酒を広めたいという思いから日本酒塾などを開催する方をお招きしました。日本酒を楽しむきっかけを作るというコンセプトで行ったこのイベントでは、日本酒の種類、おすすめの飲み方などを教えていただきました。

二つ目の活動は、HP及びブログ運営です。HPでは主に活動報告を行い、ブログでは私たちの気ま

まな日常を綴っています。HPを立ち上げたことで、私たちの想いをより具体的に発信できるようになり、地域の方々の目にとまる機会も増えたと実感しています。

当サークルは2017年に設立されました。その新しさと奇妙なサークル名から、どんな活動しているかが伝わっていないのが現状です。今年の目標は、サークルの認知度を上げることです。そのためにHPやロゴの作成、Twitterの更新などに努めてきました。これからも協力してくださる地域の方々へ感謝しながら、活動していきたいと思っています。



令和2年度 公開講座の中止について

公開講座は、建学の理念である「地域に結びつき開かれた大学」を具体化するものとして、開学3年目の1990(平成2)年に始まりました。毎年、本学の専任教員が講師となり、釧路公立大学及び釧路市を除く釧路総合振興局管内の町村で開催しています。また、北海道が実施する道民カレッジの連携講座にも指定されてきました。

令和2年度における公開講座については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を鑑み、中止といたしました。毎年本講座を楽しみにされていた方には、ぜひ来年ご参加頂ければと存じます。

なお、令和3年度の公開講座開催については、改めて大学ホームページ等にて周知します。

釧路公立大学公開講座記念誌の作成について

これまで30年近くに渡り実施してきた公開講座を振り返るべく、釧路公立大学公開講座の記念誌を作成することと致しました。作成については本学の企画委員会が中心となって行っています。

保 | 健 | 室 | だ | よ | り

『大学での新型コロナウイルス対策』

世界中に感染が拡大している「新型コロナウイルス」が、北海道で初めて確認された2月から私達の生活は大きく変わりました。科学や医療が発達した現代でも、新型コロナウイルスという脅威のウイルスに全世界が苦戦しています。治療体制が整い、安全なワクチン(予防接種)ができるまでは、まだ時間がかかりそうです。「人が居るところには新型コロナウイルスが潜んでいる可能性がある」「新型コロナウイルスを自分の体の中に入れない」ことを意識して生活するのが、今できる最善の方法と言えます。

今回は、後期からの対面授業に向けて、大学での新型コロナウイルスに対する対策の紹介とご協力のお願いです。新型コロナウイルスは、発熱など症状がなくても感染していることもあります。体温測定はウイルス感染予防の重要な手段です。そこで、大学内での感染拡大防止のために大学内に入る前に、発熱の疑いのある方を早期発見できるよう3ヶ所の出入口に「非接触温度センサー搭載システム」を設置しました。マスクを付けたままでも測定可能で、定位置に立つと約0.2秒で体温が表示されます。発熱がある場合は、赤い表示と共にメッセージが流れますので、必ず保健室や学生課に相談してください。尚、体育館などから入られた方も必ずエントランスホールで「非接触温度センサー搭載システム」で体温測定してから大学内に入るようお願いします。そして、引き続き各出入口に設置しているアルコールによる手指消毒をしてから大学に入る、大学内でのマスク着用、各教室に入る前の手指消毒と机のアルコールの消毒、学生同士で集まる

場合は、3密(密集・密接・密閉)を避ける行動を今後ともお願いします。

これから冬場に向かって季節性のインフルエンザウイルスも流行します。抵抗力が下がると様々な病気や感染症にかかり易くなります。例年以上に今年の冬は、体調管理に気をつけて後期を乗り切りましょう。

また、体調のこと・一人暮らしでの悩みや不安などありましたら、些細なことでもいいので保健室へ電話や相談に来てください。内科医による健康相談や臨床心理士の資格をもった専門カウンセラーによる「心の相談」も月に数回実施しております。相談希望の方は、保健室へお問い合わせください。

☆保健室の開室時間 9:00～18:00(平日)

☆電話番号(直通) 0154-37-5390

☆メールアドレス hoken@kushiro-pu.ac.jp



K.P.U. フェスタ2020

K.P.U.フェスタ実行委員会委員長
経済学科3年 小袖 菜津実

在学生の皆様、並びに保護者の皆様こんにちは。
K.P.U. フェスタ実行委員会です。

本来であれば、今年で第19回を迎えるはずの大学祭ですが、今年度は新型コロナウイルスの流行により、感染拡大防止の観点から心苦しくも“中止”という判断を致しました。

しかし、当委員会では学生の皆様や地域の皆様に何か楽しんで頂ける企画をご用意したいという想いがありました。そこで、今年度は花火をメインイベントに、我々釧路公立大生の頑張りをオンラインで配信する、「K.P.U. オンラインフェス～コロナに負けるな!!秋花火プロジェクト～」と題してイベントを行うことに決定致しました。

毎年、大変お世話になっている地域の皆様や企業の皆様、教員及び学生の皆様に日頃の感謝を込めまして、多くの皆様に見て頂ければ幸いです。

今年度は例年と違う形にはなりますが、多くの方に盛り上がり頂けるよう当実行委員会も一丸となって準備して参ります。今後とも応援と御協力をぜひ宜しくお願い致します。



表紙作品解説

「静かなる躍動」

描者：経済学科1年 平野 葉月

この作品は、冬の釧路湿原で戯れる二羽のタンチョウです。

儂い風景の中で躍動する生命力の強さ、美しさに魅了され、この作品を描こうと思いました。

翼は白一色ではなく青や黄などを交えており、逆に背景はモノクロ調で描くことで、タンチョウの躍動感と雪景色の静寂さの懸隔を表現しています。

この度は、大学広報誌の表紙制作に携わる機会を与えていただきありがとうございました。

◎2020年度後期授業料の納入について

後期授業料は10月30日までに納めてください。最寄の金融機関から、同封の「納入通知書兼領収書」でお振込みください。授業料の分割納入や減免を希望される場合は、受付期間に申請書を提出してください。

編集後記

教員生活17年目ですが、毎年春には卒業生を送り出し、新入生を迎え入れるというリズムがすっかり身体に刷り込まれたからなのか、卒業式も入学式もなかった今年は何やら落ち着かず、調子が出ないまま秋を迎えてしまいました。夏のオープンキャンパスも今年はWeb開催となり、高校生へのメッセージ動画を作りながら、改めていまなぜ経済学を学ぶのだらうと自問しました。世界を見渡せば、人は社会の中でしか生きられないはずなのに、あちこちで対立し、分断が深まっています。各自が好き嫌いにのみ拘泥し、その好悪の感情が何に規定されているのかまで深く考えようとしなからず。学生には異なる他者を自己のなかに位置づけ、対話を続けていくことを願ってやみません。(照)

釧路公立大学だより 第62号
2020年(令和2年)10月1日発行

◎発行元

釧路公立大学

〒085-8585 釧路市芦野4丁目1番1号

TEL 0154-37-3211

FAX 0154-37-3287

学生課：TEL 0154-37-5091

URL・<https://www.kushiro-pu.ac.jp/>

◎発行日

毎年2回(4月1日、10月1日)